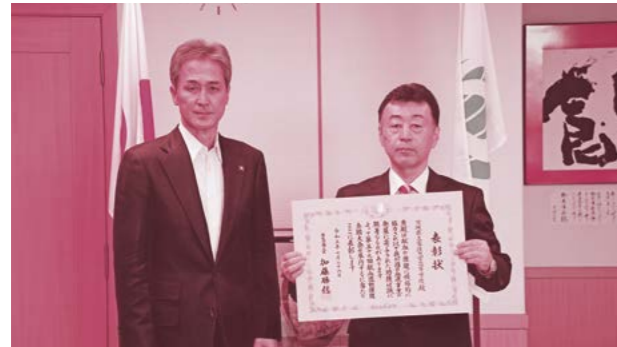


8/2 献血運動へ20年以上協力
常陸大宮高校が厚労大臣から表彰

県立常陸大宮高校が、献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示したとして、厚生労働大臣から表彰状が贈呈されました。

常陸大宮高校では、20年以上積極的に献血への協力を続けており、献血運動推進のための広報活動などを積極的に行っている功績が認められ、今回の表彰に至りました。



▲(右)常陸大宮高校 鈴木猛校長

8/21~23 海外を再現した空間で生きた英語を体験
中学生英語体験事業 実施

中学生英語体験事業を実施し、中学3年生21名が参加しました。海外の店舗や飲食店、航空機内などが再現された施設「東京グローバルゲートウェイ」で、海外での日常生活をイメージした英語コミュニケーションの実践やグループディスカッションなどで英語力の向上を図りました。

始めは緊張していた生徒たちでしたが、次第に英語でのコミュニケーションに慣れ、笑顔で研修に取り組んでいました。



▲海外の食料品店を想定した空間で、会話を通して必要なアイテムを購入しました。

8/24 親子で認知症への理解を深める
認知症サポーター養成講座 開催

認知症を偏見なく理解し、地域で見守る「認知症サポーター」を養成する講座を、社会福祉協議会の親子イベント内で開催しました。認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、認知症の方や家族を地域で支える方を指します。

実際の状況を再現した内容に、小学生からは「おもしろかった」との声や、「劇やクイズで、子供たちにも分かりやすかったと思う」との保護者の声が寄せられました。



▲認知症の方との食事風景を再現し、食事時の接し方などを学びました。

8/2~25 子供たちが文化や芸術に触れる
夏休み子供体験講座 開催

公民館「夏休み子供体験講座」を開催し、小学生のべ190人が参加しました。この講座は、毎年夏休み期間に市文化協会加盟団体の協力のもと開催しています。今年は28団体のご協力を得ながら、生け花や社交ダンス、和太鼓などの26講座を開催し、実りの多い体験となりました。

クラブ・団体の皆さんの熱心なご指導により、子供たちにとって、充実した活動となり、夏休みの楽しい思い出のひとつとなりました。



▲生け花講座では、ひまわりを使った夏らしい作品を作りました。

8/29 宝くじ売上による助成を太鼓整備に活用
小田野区はやし囃子太鼓を新しくしました

小田野区では、お囃子を通じて、多世代の交流や次の世代への伝統継承を行っています。

今年度、お囃子まつりで使用している太鼓の整備に宝くじの助成金を活用しました。この助成は、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために行われているもので、宝くじの売上金の一部が使われています。



▲大胴や締太鼓を宝くじ売上による助成金を使って新しくしました。

8/26 アクティビティや農家での収穫を体験
移住体験ツアー「つながるローカル」

移住を検討している人や田舎暮らしなどに関心のある人に、常陸大宮市の魅力を知ってもらう目的で移住体験ツアー「つながるローカル」を開催しました。

今回のツアーでは、「親子で楽しめるイベント」をテーマに行いました。県内外から12名の方が参加し、御前山ダム湖でのカヌー、農家での卵収穫とピザ作りを体験しました。ツアー参加者からは「自然が多く参加してよかった」などの感想をいただきました。



▲美和地域の鶏卵農園「環の花」では収穫した卵を使ったピザ作りを体験しました。

9/3 なぎなた関東ブロックジュニア大会
大宮西小 大森優生ひろきさんが3位に

令和5年度関東ブロックジュニア大会(主催：関東ブロックなぎなた連絡協議会)の小学生3・4年生の部で大宮西小学校4年の大森優生ひろきさんが見事、第3位の成績を収めました。

昨今の今頃、友達の誘いで見学に行ったことがきっかけで、なぎなたを習い始めた大森さんは、毎週1回、小・中学生の仲間と楽しく練習に励んでいるといいます。今後も、市や県を越えての活躍が期待されます。



▲大森優生ひろきさん

9/10 子供たちがバレーボールを通して交流
東京都日野市とスポーツ交流事業

東京都日野市とのスポーツ交流事業を西部総合公園体育館で開催しました。日野市とは御前山地域に日野自動車のテストコースがあることが縁で交流が始まり、今年はバレーボール大会を行いました。

今回の交流事業には常陸大宮市のJドリームスポーツ少年団と小瀬スポーツ少年団、日野市の日野アテネジュニアバレーボールクラブが参加し、交流試合のほか、ストラックアウトゲームを行い、スポーツを通して交流を深めました。



▲交流大会には両市合わせて 96 名が参加しました。

9/23 水郡線利用促進を高校生が考える
水郡線ワークショップ 発表会

高校生が水郡線の利用促進に関するアイデアを出し合うワークショップ(主催：茨城県水郡線利用促進会議)が開催されました。沿線高校7校が参加し、7～8月に行ったミーティングでは、「しゃべる列車」や「特産品を使った商品開発と列車のコラボ」などのアイデアが提案されました。

9月23日の最終発表では、来年1月に開催予定の「水郡線機運醸成シンポジウム」で発表を行うチームの選抜も行われ、常陸大宮市からは小瀬高校が選ばれました。

9/21 子供たちが鼓笛隊として地域に呼びかけ
交通安全パレード 実施

秋の全国交通安全運動期間(9月21日～30日)に合わせ、4年ぶりの交通安全パレードを実施しました。若草幼稚園の年長組26人の鼓笛隊、カラーガード隊が演奏と演技を行い、ドライバーなどに交通安全を呼びかけました。パレード終了後には、市内交差点にて街頭キャンペーンを行い、啓発チラシなどを配布し、交通安全を訴えました。運動期間は終了しましたが、引き続き交通安全を心がけ、安心・安全な社会を築いていきましょう。



▲本格的な衣装に身を包み、楽器などを持った子供たちが、街を歩いて啓発活動を行いました。



▲小瀬高校からはサイクルトレインの平日導入や水郡線のイメージキャラクター「水郡あゆたろう」が提案されました。

9/24 宮城県蔵王町とスポーツを通して交流
縁 JOY スポーツフェスティバル

常陸大宮市と友好都市協定を結ぶ宮城県蔵王町で開催された「縁 JOY スポーツフェスティバル」に、本市の学童野球チーム「明峰ルーキーズ」とゲートボールチーム「南町長寿クラブ」が参加しました。

この大会はスポーツの祭典として、蔵王町総合運動公園を会場に福島県など宮城県外からも数多くのチームが参加する交流大会となっています。

秋晴れのもと開催された交流試合では、両チームともハツラツとプレーし、真剣に競技へ取り組みながら試合を通して蔵王町や他県のチームと交流を深めました。試合を終えた明峰ルーキーズの選手たちは、「初めての県外遠征で緊張したけれども、貴重な体験ができてよかった。また来年も参加したい。」と話していました。

また、交流大会以外にもストラックライン、サップなど子どもから大人まで楽しめる様々なスポーツを体験できるイベントが行われていて、会場は大変賑わっていました。



▲ゲートボール交流試合に参加した南町長寿クラブの皆さん



▲野球交流試合に参加した明峰ルーキーズは、3位という素晴らしい成績を収めることができました。

17年の間、小学生の下校見守りに取り組む
田子内防犯ボランティア協力会

平成18年に発足した田子内防犯ボランティア協力会では、発足から現在まで17年間、小学生の下校の見守り活動を続けています。

見守り活動のきっかけとなったのは、平成17年に起きた、当時小学1年生の女の子が行方不明となり、市内の山林で亡くなった状態で発見された事件でした。

現在、協力会は70～80歳代の24名で構成されており、毎回の下校で12～13人が見守るよう交代で取り組んでいます。



▲下校時は2回に分けて30分ほど、決められた持ち場で見守り活動をしています。(写真提供：茨城新聞)

10/7 地場産品を使った商品を常陸大宮高校生が考案・販売

~9 「第51回本場大館きりたんぼまつり」で常陸大宮市・秋田県大館市の高校生が交流

常陸大宮市・大館市友好都市推進協議会では両市の産品を使った新たな商品の開発に取り組んでおり、この度、常陸大宮高校の生徒のアイデアにより、両市のサツマイモを使用して作った菓子パンの試作品が、コミュニティカフェ「バンホフ」などの事業者の協力を得て完成しました。

常陸大宮高校では「課題研究」の授業において商品案を企画し、事業協力者や両市職員との意見交換を行いながら、ブラッシュアップを重ね試作品の完成に向けて取り組んできました。

同校の生徒は、この菓子パンを10月7日から9日に大館市で開催された「第51回本場大館きりたんぼまつり」にて販売しました。準備した500個が半日で完売するほど好評であり、大館市の方々に新商品開発の取組を広くPRすることができました。また、同市にある大館国際情報学院高等学校の生徒との交流を行い、「秋田犬」や「まげわっぱ」、「きりたんぼ」など、大館市の魅力を教えてもらい、友好を深めました。参加した常陸大宮高校の生徒からは、「これからも交流を続けていきたい」「とても貴重な経験になった」などの感想がありました。



▲常陸大宮高校の生徒がきりたんぼまつりのステージに登壇し、さつまいもの菓子パンや常陸大宮市の名物をPRしました。



▲試食会では、高校生のアイデアをプロが形にし、食材の特徴が生かされているかなどを確認しました。


新規採用職員紹介

令和5年10月1日付けで技術職として3名が入庁しましたので、お知らせします。

部課名	氏名
建設部都市計画課	大曾根 ひかり
建設部駅周辺整備推進課	廣木 拓也
上下水道部施設管理課	住谷 勇祐



▲(右から) 大曾根ひかり、住谷勇祐、廣木拓也



常陸大宮市の情報がいつでもどこでもすぐにわかる！

ひたまるアプリ


二次元コードを読み取って
いますぐダウンロード！

市最新情報を
スマホに通知

ごみ収集日の
プッシュ通知

防災・災害
関連情報

App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう

